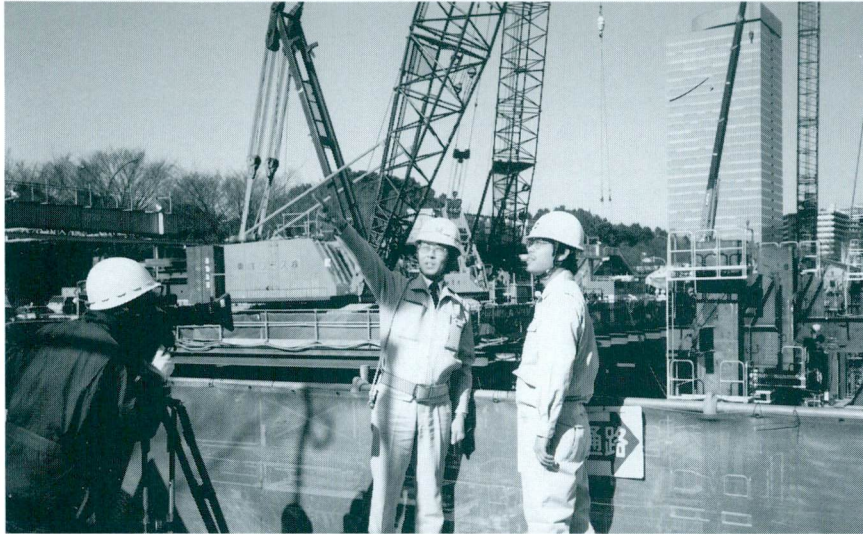


土木・建築シリーズ

建築現場における高度な技術や
伝統的な工法を紹介するシリーズ。
建築科工業高校、大学、高等専門学校など
教育の場で実践的教材としてご活用ください。



企画＝大成建設(株)
製作＝(株)桜映画社

◀[建設現場は今]

——ビルを創る人々

- 日本産業映画コンクール奨励賞
- 日本産業映像祭部門賞

カラー29分
16ミリ/200,000円
VTR/50,000円

ある生命保険会社の本社ビル新築工事にかかわる人々を記録しながら、ビルというひとつの「作品」をつくりあげていく創造性のある職場——建設現場を描いた作品。映画は、所長を中心に、そこに働く人々の生の声を交えながら現在の建設現場の姿とその魅力を紹介していく。

[木組の技]

——萬満寺本堂建立

- 文部省選定
- 教育映画祭優秀作品賞
- 日本産業映画・ビデオ賞

カラー32分
16ミリ/210,000円
VTR/50,000円

日本の観光地や名所旧跡には必ずといってよいほど古い寺院建築がある。この映画は、千葉県松戸市の萬満寺の総檜造りの本堂建築の過程を記録しながら、数百年の年月にも耐える日本の木造建築はどのようにして造られているのかを、宮大工をはじめとする工匠たちによるその技術を中心に描いていく。



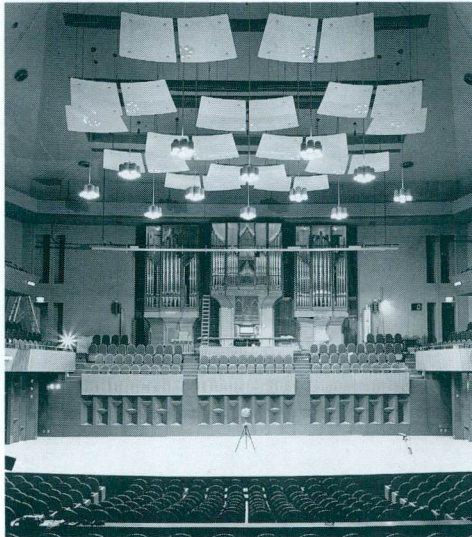
◀[響]

——ザ・シンフォニーホール

- 教育映画祭優秀作品賞
- 日本産業映画コンクール日本産業映画賞
- 科学技術映画祭長官賞

カラー24分
16ミリ/160,000円 VTR/45,000円

西洋音楽は、日本の音楽と比較すると残響を生かすことを大きな特徴として発達してきた。この映画は、響きのよいホールが少ないといわれてきた日本で、はじめてクラシック専用の理想的音楽空間として建設された大阪のザ・シンフォニーホールを紹介しながら、音と建築の関係について探っていく。最新の音響技術を駆使しながら、残響の本質を分析し、ヨーロッパの音楽名ホールの響きを日本で再現する過程を描く。



[超高層RC積層工法]

カラー28分 (ビデオテープのみ)
VTR/50,000円
RC積層工法は、低層ビルにしか向かないと言われてきたが、高品質、高精度の施工で超高層ビルにも可能になった。実際に、25階建ての超高層集合住宅が建設されていく過程を、現場技術者の解説をまじえて技術的に紹介する。

[大空間を創る]

カラー19分
16ミリ/150,000円
VTR/40,000円
巨大な空間を必要とする空港施設や工場、競技場が、現在、求められている。実際に、14,000平方メートルの床に柱が一本もない広大な空間が施工されている、工場の建設過程を詳しく追いつながりながら、大空間を可能にする、画期的な工法を紹介する。

[急曲線を掘る]

——泥水加圧式シールド工法
●土木学会推薦
カラー18分
16ミリ/150,000円
VTR/40,000円
シールド工法で急カーブのトンネルを掘るには多くの困難が伴う。映画では、実際に横浜市の下水道幹線トンネル工事を素材に、その難しさを機械の改良と施工技術によって克服し、急曲線トンネルを掘り進む過程を、模型やアニメーションを交えながら解説する。

[新宿国際ビルディングの建設]

カラー27分
16ミリ/200,000円
VTR/50,000円
東京都西新宿6丁目——副都心の一角に、新宿国際ビルディングが建設された。西新宿6丁目再開発中央地区に指定されていたこの地区が、高級ホテルと事務所が複合した、超高層ビルとして生まれ変わるまでの過程を記録した作品。

[大口径泥水シールド]

●土木学会推薦
●科学技術庁推奨
カラー24分
16ミリ/160,000円
VTR/45,000円
都市の地下トンネル工事は、海底下の軟弱な地盤、高水圧、10メートル近い大口径、長い掘削距離といった数々の困難さが伴う。映画では、この問題を克服するための、コンピュータなど最先端の技術を使った新しい泥水シールド工法を紹介する。

[横引き工法]

カラー20分
16ミリ/160,000円
VTR/40,000円
日大理工スポーツホールに、「横引き工法」によって大屋根をかけていく様子をスピーディーな映像でとらえながら、画期的なこの工法の理論、安全性、様々な長所を紹介していく。

[NATM急速施工]

●土木学会推薦
カラー22分
16ミリ/160,000円
VTR/45,000円
北アルプス山中、黒部溪谷の出平ダムと新愛本発電所を結ぶ導水路トンネルの工事は、「NATM」を中心とした新しい技術と設備が結集されて、急速施工を可能にした。映画は、この新しいトンネルの理論と掘削技術の集大成を紹介する。

[RC積層工法]

カラー13分
16ミリ/130,000円
VTR/35,000円
鉄筋コンクリート部材の組合わせだけで鉄骨を全く使わないという画期的な工法—RC積層工法を、実際に採用したショッピングセンター建設の過程を例に、建物が完成するまでの建設上の工夫を、随所にアニメーションを入れながら説明をしていく。

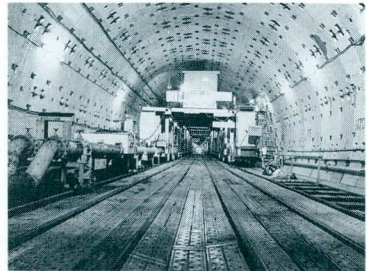
[安全な超高層ビル]

カラー16分
16ミリ/130,000円
VTR/40,000円
多数の人の働く超高層ビルでの火災は、火災そのものより情報不足によっておこるパニックが最も心配されている。この映画では、コンピュータを導入した新宿センタービルの防災設備と防災体制を紹介する。



[泥水シールド工法]

カラー17分
16ミリ/140,000円
VTR/40,000円
泥水シールド工法ではむずかしいとされてきた砂礫層のトンネル工事を、開発された新たな機械で可能にするまでを、実際の信濃川河川敷での工事を記録しながら説明していく。

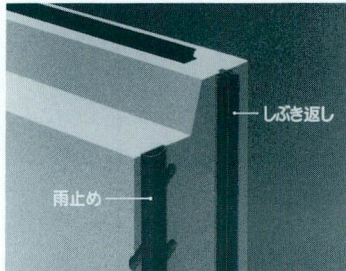


[新宿センタービルの建設]

カラー20分
16ミリ/160,000円
VTR/40,000円
新宿センタービルは、完全にシステム化された積層工法により最大級の地震にも耐えられる柔構造で建設された。映画は、資材の荷揚げを大幅に削減し、しかも安全と工期短縮につながるこの積層工法を、工事過程を追いつながりながら紹介する。

[超高層ビルの雨仕舞い]

●科学技術映画祭長官賞
最新の科学の先端を行く超高層ビルで、大きな問題となっているのは、実は、外壁からの雨水の浸入であるという。映画では、この問題を解決するために考えられたBPジョイント工法の原理を、アニメ、実験等を通して解説していく。



カラー14分
16ミリ/130,000円
VTR/35,000円

[積層工法・超高層編]

カラー15分
16ミリ/130,000円
VTR/40,000円
積層工法の最大の特徴は、建物を一階ごとに積み上げていく方法で、工期や人員において合理化、省力化が可能である。映画は、超高層ビル、ホテル・ニューオータニタワーをモデルにこの工法を説明していく。